

書くということと私 — シリーズ 22



「他人の言葉を書く」

講師：井口 耕二 氏(翻訳家)

翻訳は言葉を変換する仕事だと思われがちです。でも、実は、外国語でなにかを書いた人が日本語をよく知っていたら書いたであろう文章を原著者の代わりに書く仕事です。そのためには、原著者がなにをどう訴えようとしたのかを、原著の文章を手がかりに考えなければなりません。それがうまく行けば名訳が生まれるはずなのですが、失敗して迷訳になったり誤訳になったり……悩みが付きません。

日時： 2014年12月3日 [水] 16:20-17:50

会場： 関西大学千里山キャンパス
第1学舎1号館5階 A501教室

※津田塾大学で開催される講演会をTV中継いたします。
※事前申込不要・参加費無料

井口耕二 氏プロフィール：

東京大学工学部卒。出光興産時代に米国へ留学し、オハイオ州立大学大学院修士課程を修了。会社員時代は、石炭燃焼の研究や石炭の輸入ビジネスなどを担当した。その後、子どもの誕生を契機として、子育てに必要な時間のやりくりがつけられるようにと退職し、技術・実務翻訳者として独立。最近是非フィクション書籍の翻訳者としても知られる。主な訳書に『スティーブ・ジョブズ (I・II)』(講談社)、『沈みゆく帝国』『スティーブ・ジョブズ 驚異のプレゼン』『ジェフ・ベソス 果てなき野望』『リーン・スタートアップ』(以上、日経BP社)、『アップルを創った怪物 もうひとりの創業者、ウォズニアク自伝』(ダイヤモンド社)、『リーダーを目指す人の心得』(飛鳥新社)、『閉じこもるインターネット』(早川書房)などがある。

[お問い合わせ]

関西大学教育開発支援センター事務局
TEL:06-6368-1111 (内線3223、3812)
URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/renkei.jp>

[主催]

津田塾大学ライティングセンター

[共催]

関西大学ライティングラボ